

Monthly Report

Vol.56 / 2011 Jan.

韓国 龍仁大学校と交換留学に関わる事項で締結



12月27日、韓国の龍仁（ヨンイン）大学校において、金正幸総長以下10名、本学は朴澤学長、斎藤浩二教授、朴准教授が出席のうえ、調印が執り行われ、学生の交換留学に関わる事項の締結がされました。これは、昨年1月21日に同大学校と学术交流に関する協定が締結し、その後、学生の交換留学に関わる事項について両大学で協議した結果、本学は体育学科・現代武道学科、龍仁大学校は武道・体育大学の学生交流を目的とする合意が得られたためです。

調印終了後本学一行は、龍仁大学校の武道大学警護学科等の施設を視察し4月の本学の現代武道学科開設に向けて、資料収集と情報交換を行いました。

（斎藤浩二教授より情報提供）

龍仁大学との交流については次頁でも紹介

目次

龍仁大学との交換留学に関わる事項締結	1
東北リコー(株)支援事業	2
楽天の選手が本学で低酸素トレーニング実施	3
管理栄養士 対策合宿講座 避難訓練を実施	4
学生の活躍	5
東京事務所が移転 オリジナルグッズ紹介	6
仙台大のタイガーマスク登場 明成高のお弁当が商品化	7

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら
広報室までお寄せください。

Monthly Reportで紹介する他、報道機関
にも旬な話題を提供していきたいと考えて
おります。

本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、
広報室までご一報ください。

広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp

ヨ ン イ ン チ ョ ン ソ ン ス ク キ ム ジ ン フ ァ ン

龍仁大学の鄭成淑学科長、金鎮煥教授が来訪



ヨ ン イ ン
チ ョ ン ソ ン ス ク キ ム ジ ン フ ァ ン

1月27日（木）に龍仁大学の警護学科長である鄭成淑教授と、金鎮煥教授が来訪し、両大学の国際交流に関することや、本学が平成23年4月に開設する現代武道学科に関する打ち合わせを行いました。また、鄭成淑教授と金鎮煥教授に講演（龍仁大学校警護学科の教育概要）を頂きました。講演会では、はじめに龍仁大学の紹介VTRが放映され、同大学が誇る「国際大会も開催できる芝生運動場」、「国際セミナー等を開催するコンベンションセンター」、「オリンピックなどの国際大会で学生が獲得したメダルなどが展示された武道・体育展示館」、「地域開放している大型ゴルフ場」、「大学博物館」などの施設や、「韓国一の奨学制度」、「各方面へのスクールバスの整備」などの充実した教育環境が紹介されていました。VTRからは龍仁大学が「学生のための大

学」、「人間中心の大学」というメッセージが伝わってきました。その後、鄭学科長より龍仁大学警護学科の教育概要の説明があり、金教授からは、韓国の公的警備と民間警備の現状と課題や、本学において武道警護学を展開するに当たったの留意点のアドバイスがありました。

お二方とも、龍仁大学の警護学科において、一年生からまず身につけさせることとして、一番重要で、最優先に教えるべきことは、「人間性の涵養」と「道徳性」を身につけさせることであると強調されていました。

講演会には、新学科開設にあわせてあらたに4月より教員に着任する先生方にも出席いただき、龍仁大学の先生方と活発に意見交換するなど、たいへん有意義な講演会となりました。

東北リコー(株)支援事業



1月28日(金)に山口講師が東北リコー(株)で社員を対象にリフレッシュ体操の指導を行いました。これは、平成22年3月に締結した「健康増進支援協力」事業の一環であり、佐藤久准教授のノルディックウォーキング講習、篠田講師のリ

フレッシュ体操、橋本教授の健康教室に続いて、今回が4回目の実施です。

東北リコー(株)の社員は健康に対する意識も非常に高く、お昼休みには同社の敷地内に設置された約1.5kmのウォーキングロードを歩く社員の姿が頻繁に見られるそうです。今回行ったリフレッシュ体操は、仕事の合間にできる体操をと、山口講師が考案したものです。今後も地域に根ざした仙台大学となるべく、今後の地域交流・地域貢献が進められていきます。



東北楽天ゴールデンイーグルスの選手が本学で低酸素トレーニング実

新人選手7名



東北楽天ゴールデンイーグルスの新人選手7名(塩見選手、美馬選手、阿部選手、榎本選手、勧野選手、木村選手、川口選手)が本学に1泊2日(1/17、18)の日程で、体力測定および低酸素トレーニングを行いました。17日には身長・体重・体脂肪率・動体視力などの基礎測定と、専門機器を使用して最大酸素摂取量と膝屈曲伸展の計測を行い、夜は標高2500mと同等の酸素濃度(約15.4%)に設定した低酸素室に宿泊しまし

た。18日には、低酸素状態でバイクトレーニングを行い、さすがの選手たちも終わった後には辛そうに横たわっていました。今回行った低酸素トレーニングは、血液の酸素運搬能力の向上や筋肉の酸素消費能力を改善し、基礎体力を向上させる効果が期待できるものです。本学でトレーニングを実施した新人選手の飛躍が期待されます。

なお、このもようはNHK仙台放送などの報道関係前13社からの取材を受け、NHK全国版でも放映されました。



西村 弥選手、川岸 強投手



昨年に引き続き、東北楽天ゴールデンイーグルスの川岸 強投手と西村 弥選手が、1月28日まで高橋弘彦教授、内丸 仁講師のもとで低酸素トレーニングを実施しました。

西村選手は1月20日から、川岸投手は25日から本学に入り、夜は標高2500mと同等の酸素濃度(約15.4%)の低酸素室に宿泊。起床後は低酸素状態でバイクとランを行った後、クリネックススタジアム宮城に戻り、練習を行うというハードな毎日を送りました。低酸素状態でのトレーニングは想像以上に苦しいものですが、さすがは昨年も経験している両選手。「つらい」、「しんどい」という言葉はもらすものの、普通であれば音を上げるメニューも淡々とこなしていました。自主トレも終盤、本学でのトレーニングが2011年シーズンの活躍に繋がる事を期待したいものです。

管理栄養士国家試験対策 第2回合宿講座開催



仙台大学としては2年目（2回目）となる管理栄養士国家試験対策・合宿講座が昨年同様の日程で1月9日～10日に開催されました。

学内宿泊ということでセキュリティ面やインフルエンザ等への注意を徹底し、参加者全員が無事故・健康で終えることができました。

参加者からは、合宿全般について「費用が安く良い」「卒業してずっと一人だけの勉強を強いられてきたので、卒業生同士が久しぶりに懐かしい母校で再会し合宿勉強できたことは大変刺激となり、モチベーションも上がって

ます。絶対合格するぞとの思いで最後まで挑んでいきたいと思います」ということや、期間中に行なわれた東京アカデミー講師による特別講義については「独学での限界を感じていた分野が今回の講義でポイントがわかりやすく入ってきた。」「あいまいにしかわからなかったところが明確に理解できるようになった」等々の感想が寄せられました。

参加者：7名（昨年は9名）

- ・新助手3名（昨年は4名）
- ・大学院生1名（昨年も1名）
- ・上記以外の卒業生3名
（昨年は4名<このうち2名が国試に合格>）

< 仙台大学修練会より情報提供 >



避難訓練を実施



仕事納めの12月28日（火）に柴田消防署の指導の元、避難訓練を行いました。D棟（25記念館）の調理実習室が火元という想定で訓練は行われ、サイレントと校内アナウンスの後、教職員が一斉に噴水前に非難し、担当職員は避難経路の確認と放水を体験しました。総括では、柴田消防署の方より、「大学には学生も多く在籍しているので、万が一火災が起きたときは教職員の方々には冷静な判断を心掛けていただきたい」との話がありました。

スケルトン・ボブスレー全日本選手権大会



12月25、26日にスケルトン・ボブスレー全日本選手権大会が行われ、スケルトン男子では高橋弘篤選手（システックス / 仙台大学平成18年度卒）が初優勝。女子は小室 希選手（仙台大学大学院）が2大会連続3度目の優勝、大向貴子選手（長野市役所 / 仙台大学平成18年度卒）が2位に入りました。
ボブスレー男子4人乗りでは、鈴木寛選手（マ

ネックス証券 / 平成7年度卒）と今井功太選手（体育学科2年）が同じチームとして出場したソリが優勝しました。

今大会には「伊達なSport Project」（<http://www.sport-project.jp/>）の柴田高校生3名が初めて公式大会の場を踏み、2012年の行われるユースオリンピックに向けて、大きな第一歩を踏み出しました。

スケルトンのアメリカズカップに学生3名が参戦



スケルトンのアメリカズカップたにふじゆうきに参戦している谷藤祐貴よねくらりえ（体育学科3年）、小沢まりこざわ（体育学科4年）、米倉理絵よねくらりえ（運動栄養学科2年）の3名が、国際舞台でも好成績を残しています。1月14日に行われた第5戦レイクプラシッド大会では、小沢まりが6位入賞、続く第6戦カルガリー大会では、谷藤と米倉がそれぞれ男子・女子の部で6位入賞を果たしました。アメリカズカップも残り3戦。更なる上位入賞の報告を聞かせてくれることでしょう。

2011年 初漕ぎ ~ 漕艇部員が優勝の決意表明 ~



1月6日（木）早朝に、漕艇部の初漕ぎ会が白石川で行われました。

会には早朝にもかかわらず朴澤学長も参加し、「今の練習環境があるのは先輩方の活躍があったからこそです。今年は創部10年の節目の年でもあるので、皆にも先輩達以上の活躍を期待します。」と選手を激励しました。

選手も一人ずつ土手の上から今年一年の決意にしむらみつおを述べ、その中で西村光生主将（体育学科3年）は「創部10年目。全身全霊を込めてインカレ・全日本選手権で必ず優勝します」と力強く誓いました。

その後、選手はそれぞれの艇に乗り、今年初めてのトレーニングを行いました。

仙台大学東京事務所を移転

～遠隔授業による東京からの情報発信が可能に～

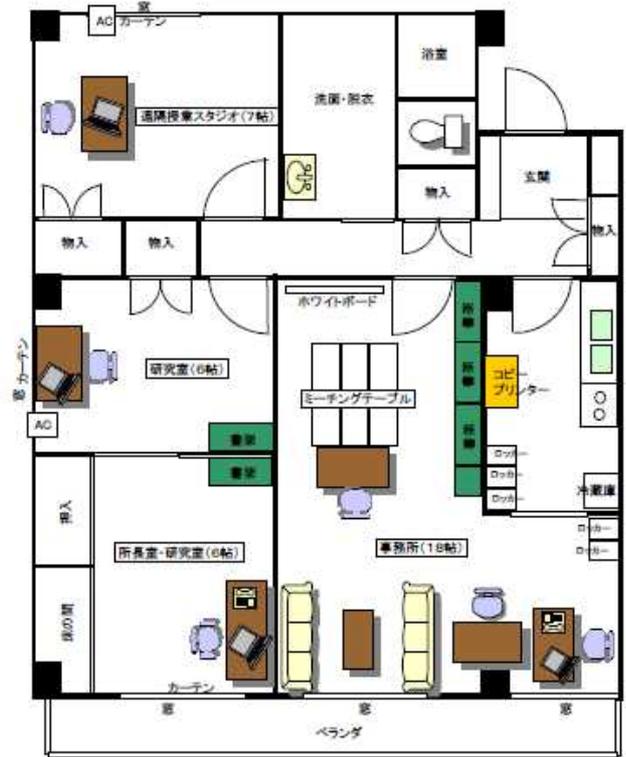
平成19年に設置された仙台大学東京事務所（文京区）が、本郷から湯島に12月1日(水)に移転しました。住所こそ変わりますが、旧事務所から数分のところ。最寄駅は、地下鉄丸ノ内線及び大江戸線の「本郷3丁目駅」からも7分程度のところ。東大の竜岡門から数分のところに位置し、静かな環境のマンションの一室です。右図に示す通り、以前よりもスペースが広く、部屋数も多いため、

マルチメディア利用による東京からの仙台大学本部への遠隔授業が可能となり、首都圏の講師陣からの最新の学術・研究情報をタイムリーに収集し提供が可能になると期待されております。

また、地下鉄丸ノ内線の東京駅から本郷3丁目駅まで7分でアクセスでき、そこから徒歩で7分程度の好立地にあり、また、上野駅からのアクセスも容易です。従って、学生の皆様の就職活動拠点としての利用も念頭に置き、新事務所では、学生の皆さんの就職活動に必要なデスク、コンピュータも揃えております。

更に、学生の皆様、教職員の皆様の希望・要望に応じ、機能の拡充を図っていく予定です。

住所は・・・ 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-10 フドウ山本ハイツ404号室
電話番号（FAX兼用）03-3814-9769（旧事務所と同様の番号です）最寄駅からのアクセスの地図は、右の通り。



大学オリジナルグッズ 新商品

大学オリジナルグッズプロジェクトチーム（P/T）では新商品を企画・製品化しています。この度、新しいグッズ2点が新発売となりましたのでご紹介します。

～仙台大学限定～
キュービーストラップ
¥500

定期券入れ
¥1500



チョットいい話・・・仙台大学のタイガーマスク登場

1月31日(月)、柴田町役場の平間課長より、事務局長室に一本の電話がはいりました。

1月29日の土曜日、今シーズン一番の大雪が降るしきるなか、町役場の玄関前に「仙台大学有志」の名前でランドセル1個と、文房具が「児童福祉施設に渡してください」とのメッセージとともに届けられたそうです。

柴田町役場では、町内に児童福祉施設はないので県と相談して県内の児童福祉施設に早速届けることにしましたとの連絡がありました。

メッセージには「来年もきます」と書いてあったそうです。

御礼を含め、上記の連絡がありました。

平成23年1月31日
事務局長 より



画像はイメージ

明成高校が県知事賞を受賞 / 高校生お弁当コンテスト



県知事賞受賞：明成高校「おにぎりサンド弁当」

宮城県主催の第1回 高校生お弁当コンテストで、明成高校調理科の「おにぎりサンド弁当」が県知事賞（優勝）を受賞しました。宮城県内の食材をふんだんに使い栄養バランスの取れたお弁当に仕上がっています。このお弁当が、県内のセブンイレブンで期間限定（1/25～2/7）で販売されています。是非、ご賞味ください。

なお、明成高校では高校入試(2/3)の際に、引率される中学校の先生方に配付し、ご賞味いただくこととなっています。



期間限定でセブンイレブンから販売されている「おにぎりサンド弁当」